総会特集号

FSVnetニュース

連絡先
〒251-0051藤沢市白旗4-9-1～4F
TEL0466－84－1762
fax0466－81－2816
E-mail:fsvnet@arts-k.com

発行／NPO法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク　発行者／森井　康夫　発行年月／２０１７年７月

第11回定期総会・講演・交流会開催される

日　時　2017年６月17日（土）　16：30～20：30
場　所　藤沢商工会館　502会議室

御来賓の皆様

森井代表挨拶

総　会　風　景

総会は、水島事務局長より会員数64（4月1日現在）出席会員38名（団体18、個人20）で定款27条に定める定数を満たし総会成立の報告の後、森井理事長の挨拶に続いて、来賓代表として吉原防災安全部長よりお言葉ををいただき議事に入りました。互選により森井康夫氏を議長に選任。森井康夫氏より小林亘氏を書記に、佐藤俊平氏及び桑島威氏を議事録署名人に選び、報告事項、提案事項について審議し全てが承認されました。

■2018年度　事業報告・決算報告（要約）

ＦＳＶネットの存在を地域の自主防災組織に理解していただき、当ネットワークへの加入により日頃から顔の見える関係づくりとＦＳＶネットを活用した地域防災力の向上促進と支援を行いました。主な事業を以下に紹介します。

●藤沢市における災害情報コーディネーター実証実験支援業務　10月30日（日）藤沢南エリアでファミリーウォークに合わせ実施。

●防災セミナー　地域防災力の向上講演（明治地区）熊本地震に学ぶ（神奈川県民センター）藤沢市障がい者防災講演会（市民会館）。

●災害救援ボランティアコーディネーター養成講座の実施。鵠沼会場　41名受講。湘南大庭会場25名受講。村岡会場ステップアップ21名　入門編21人受講。

●災害情報員・情報コーディネーター要請講座5人（推進センター）。

●帰宅困難者対応訓練（ファミリーウォーク）の実施。絆を強めるファミリーウォークを開催。同時に災害情報員・市民レポーターの実証実験を行なった。参加者170名

●藤沢市総合防災訓練に参加。三者協定の役割確認とボランティアセンター設置運営訓練。

●防災本部シナリオ型シュミレーション訓練参加。三者協定の役割に沿った対応訓練。

●地域防災訓練に参加・片瀬地区訓練に参加700人。・六会地区訓練に参加970名。・善行地区訓練に参加600名。・湘南大庭地区訓練に参加120名。・村岡地区訓練に参加350名

●地域コミュニティとの交流会。・総会後の交流会にて連携を強めた。

●熊本地震災害支援　市社協による義援金街頭募金に参加５人。

●2016年度　収支決算概要

科　　目	予算額	決算額	差異(予－決)
当期収入合計(A)	415,000	375,009	39,991
当期繰越収入差額	1,047,236	1,047,236	0
収入合計(B)	1,462,236	1,422,245	39,991
当期支出合計(C)	415,000	433,110	－ 18,110
当期支出差額(A)－(C)	0	－ 58,101	58,101
次期繰越収支差額(B)－(C)	1,047,236	989,135	58,101

特定非営利活動に係わる事業会計
2016年４月１日より2017年３月31日迄

【参考】災害ボランティアコーディネーター数

１，片瀬地区29名	２，鵠沼地区129名
３，辻堂地区15名	４，村岡地区67名
５，藤沢地区24名	６，明治地区８名
７，善行地区34名	８，湘南大庭地区55名
９，六会地区67名	10，遠藤地区31名
11，湘南台地区８名	12，長後地区10名
13，御所見地区３名	

藤沢市内合計　535名（H29/3）

■2017年度事業計画

1、自主防災組織による地域防災力の向上支援

2、関係団体、行政との連携強化

①市民活動及びボランティア活動を行う団体・個人のネットワーク化の推進

②災害時の活動・拠点及び情報伝達手段の整備、体制づくり

〇サテライトセンター設置支援　〇情報伝達の体制づくり

③災害時を想定したシュミレーション訓練、各種講座の開催、広報啓発

〇災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練　〇災害ボランティアコーディネーター養成講座（初級・入門）　〇会報の発行２回　〇講座、公園パンフレット等作成

④相互理解のための交流の場づくり

〇シンポジューム、交流会参加

⑤大規模災害避難者支援　〇各種支援

3、役員・運営委員変更

役員（理事長１名、副理事長３名、理事10名、監事２名）　石黒榮一/退任、長谷川元保/退任、種田多化子/新任、佐藤俊平/新任、中島範男/新任

運営委員24名が承認された。

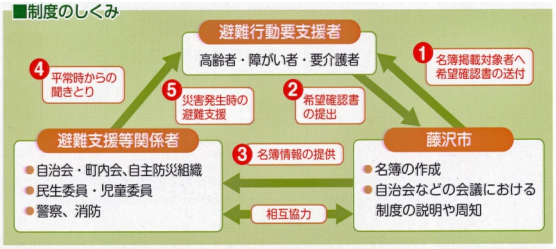
●2017年度収支予算書

科　　目	予算額	備考
当期収入合計(A) 当期繰越収入差額 収入合計(B)	510,000 989,135 1,499,135	会費、事業費、補助金、広告等
当期支出合計(C) 当期支出差額(A)－(C) 次期繰越収支差額(B)－(C)	510,000 0 989,135	事業費、管理費等

記念講演　避難行動要支援者制度について

藤沢市防災安全部危機管理課
主任　奥田　涼磨 氏

災害発生時に、特に支援が必要となる方（高齢者・障がい者・要介護認定を受けている方など）が掲載されている名簿を自治会（町内会）、自主防災組織に提供し、日頃からの見守り活動などを通じて、災害発生時の避難支援に役立てる共助の取組について分かりやすく説明していただきました。当初の災害時要援護者の名簿より対象範囲が広がりましたが、各町内会等の説明会でも以前より理解が深まって来ていると思われます。偏に職員の方の地道な努力の賜物と感謝いたします。また避難施設におけるトリアージのお話も大変興味深く、今後避難施設の運営に大きな課題を提供され、有意義な講演会となりました。



第38回　９都県市合同防災訓練　あなたも参加を！

９都県市合同防災訓練は大規模災害時における国、９都県市、他自治体及び防災関係機関等との連携強化と広域応援体制を確立し、3600万人住民の防災意識向上と減災への備えを目的に、９都県市持ち回りで会場を変えて実施されます。今年度は神奈川県の開催となり小田原市で行われます。

これだけ大規模な総合防災訓練は滅多に体験出来ません。この機会に是非ご参加ください。

日時　平成29年９月１日(金)　午前９時から13時

場所　幹事都県市会場（神奈川県 小田原市酒匂川スポーツ広場）

主催　９都県市（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）

問合せ先：ＦＳＶネットワーク TEL.0466(84)1762　email:fsvnet@arts-k.com

※ 訓練会場に駐車場はございません。最寄り駅（鴨宮駅）よりシャトルバスが出ますのでそちらをご利用ください。

※ 熱中症予防の対策を考慮してご参加ください。

編集後記

今年の梅雨は線状降水帯と呼ばれる予想外の豪雨に見舞われている。明らかに温暖化の影響が表れて海水温の上昇により多量の雨をもたらしている。自国の利益を優先する大統領まで現れ、日本も連日の猛暑に辟易し外来生物の脅威に晒されている。経済優先の考えが多くの経済損失を生み出し、果ては地球破壊をもたらす。もはやＳＦ小説の世界ではなくなりつつある。（T.O）

FSVネットニュース

発行者　森井　康夫

発行所　特定非営利活動法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク

〒251－0051　藤沢市白旗4－9－１～４Ｆ号

☎0466－84－1762　fax0466－84－1762

E-mail:fsvnet@arts-k.com